

ぴぼっと通信



発行日：2025. 4. 25 VOL264

発行者：今関 和美 編集：奥内



養老の滝のそばにある「養老天命反転地」という場所へ行ってきました。地面が波打っていたり、建物が歪曲していたりと、歩いていると平衡感覚が奪われます。自分がどこにいるのかわからなくなり、自分が自分でないような感覚を覚えて、面白い体験をさせていただきました。テーマが「人間の宿命を覆し、五感を目覚めさせることで新しい自分に出会う」そうです。ただ全部見終える頃には、急勾配やら暗闇のトンネルやらでゼーゼーハーハーになってしまい、新しい自分というより運動不足を感じてしまいました。

奥内

今月の
ぴぼっと
通信は..

- ① ぴぼっと新体制について
- ② 今関よりあいさつ
- ③ 谷川よりあいさつ



2025年度 ぴぼっと新体制について

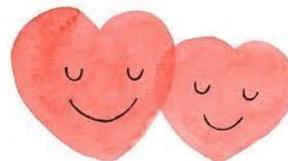
管理者であった谷川が退職したことにより、ぴぼっとでの体制も変わりました。今年度もいろいろとあるとは思いますが、もよろしくお願いたします。

支援センター部センター長 加藤 淳
生活支援センターぴぼっと管理者 今関 和美
生活支援センターぴぼっと主任 大矢 崇司

ホームヘルプ・移動支援	短期入所	重度障害者等包括支援
管理者..大矢 崇司 サ責 { 大矢(専従)武藤(専従) 奥内、田中、織田 呉 従事者:今関 和美(兼務)	管理者..加藤 淳 支援者 { 奥内、田中、 織田 呉	管理者..加藤 淳 サ責 { 今関(兼務)

※サ責はサービス提供者の略

今関より



4月もスタートしてはや2週間が経ちました。ぴぼっとでは管理者の谷川が3月末で退職をいたしました。理事としては残り、支援部・社会館全体を支えてくださることになっています。ぴぼっとの日々の業務管理は今関になります。ぴぼっとに来てそろそろ四半世紀になろうとしていることに自分でもびっくりしていますが、まだまだ力不足のため、センター長の加藤やスタッフ・ヘルパーみんなの力を借りながら、皆様の思いに寄り添う支援をしていきたいと思っております。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

今関

谷川より



私こと谷川は、3月31日をもちまして社会館を退職しました。湯浅監事の後を引き継いでの支援センター長は10年を超える年月でしたが、ぴぼっとでは、この2年間ほど、ホームとぴぼっとの管理運営を直接担うという役割を務めさせて頂いてきました。

その2年間で改めて感じたことは、職員の一生懸命な働きぶりです。朝早くから、夜遅くまで現場に詰めており、一体どこで休んでいるのかと心配はつきませんでした。そんな、職員に心からの信頼を寄せて頂いている利用者と家族、その働きを支えるヘルパーのみなさんのお力沿えがあってこそ、ぴぼっとは何とかその使命を果たせてきております。感謝に堪えません。しかし、ヘルパー不足は深刻で、業務継続は職員の過重労働に拍車をかける状況です。全国どこも状況は同じで、抜本的解決は制度の充実、報酬が大幅増額して人件費アップとなり、担い手増へとつながる。これが、この状況の解決、改善への確実な道筋と考えますが、一向に制度設計が良くなる兆しは見えない状態が続いています。何とかしたいですね。

後任は、ねーぶる加藤所長が支援センター長を兼務し、ぴぼっと管理者は今関に担ってもらうこととなりました。退職後の補充ができないまま、現有勢力で進めざるを得ないという結論です。職員は、仲間とその家族の思い、願いに応えなければとの思いを持ち続けて懸命に業務に向かっています。これまで通り、何でも言い合える信頼を基礎とした関係性にたち、職員を支え、ヘルパーステーション、ショートステイ事業の制度改善に共に向かって下さればと願います。なお、私毎ですが、社会館の理事としては継続する予定ですので、また、顔を見かけたおりにには気軽にお声かけ下されば幸いに存じます。

谷川



連絡先

社会福祉法人名古屋キリスト教社会館 生活支援センターぴぼっと

住所：〒457-0804 南区源兵衛町5-18-10

電話：052-613-1306

FAX：052-746-0873

緊急連絡先：090-7865-8518

(p i b b o t - 1 2 2 5 . n c s @ d o c o m o . n e . j p)